

都北地区建設事業協同組合

IT 活用による業務のフラット化・仕組み化

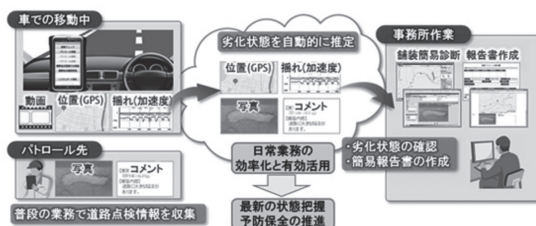
住所	〒885-0024 宮崎県都城市北原町1654番地1 都城建設会館内		
電話番号	0986-24-6269	URL	http://www.miyakonojo-kenkyo.jp/cooperative
設立	昭和59年4月	出資金	1,840千円
主な業種	建設業	組合員	184人

■背景と目的

当組合は、平成27年度から宮崎県都城土木事務所管内の「地域総合メンテナンス業務」を受託していたが、職員の残業が日常的になる等、膨大な報告書の作成業務に追われていた。また、土木事務所と組合・組合員間における受注・請求（積算）等にも膨大な業務量が発生するため、システム化が避けられない状況だったことから、組合でシステムを導入・構築し、業務効率化に取り組むこととした。

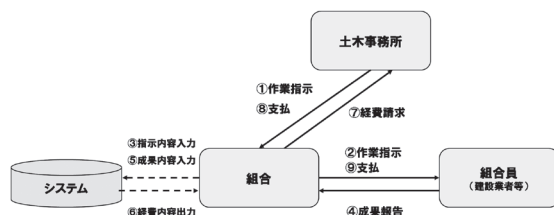
■事業・活動の内容と手法

（株）富士通交通・道路データサービスの「道路パトロール支援サービス」を活用し、パトロール車にスマートフォンを搭載することで、運行や作業位置情報の自動取得及び現場での報告書作成を実現した。



また、発注者である土木事務所にとっても即時に写真等の現場状況の情報を共有できるほか、運行しながら道路の劣化状態を自動的に推定できるため、最新の劣化状態の確認及び予防保全の推進に繋げることができるようになる等、波及効果の高い取組みとなった。

さらに、「土木事務所と組合・組合員間における受注・請求（積算）等の業務を一括管理するシステム」を構築・導入することにより、組合の大幅な業務効率化に繋がった。

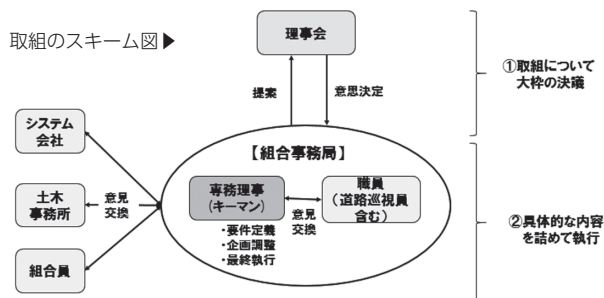


理事会で取組みの大枠の承認を経て、専務理事が道路巡視員等職員やシステム会社、土木事務所等の外部関係者と意見交換を重ねながら基本構想を練り、最終的な導入まで一貫して行ったことにより、「管理・現場両方の面で機能するシステムの構築・導入」を実現できた。

■成果

パトロール車へのスマートフォン搭載及びシステム導入により、従来は道路巡視員が帰着後に大きな手間をかけて作成していた報告書が概ね30分程度で作成可能となった（労務時間・労務費の軽減）。

また、受注・請求業務の迅速化や正確性の向上、案件毎の進行管理の簡素化等にも繋がり、決算事務や組合員への支払短期化についても実現することができた（事務の効率化）。



組合ポスター



- ・専務理事の「システム化は必須」という強い想い。
- ・その想いの下、職員の意見を重視し、企画・調整から最終導入に至るまで、キーマンが中心的な役割を担ったこと。

